

「安曇野、よいまちつくろう」～ 安曇野を深掘りし、発信します ～

～ 投票率が低迷した市議会議員選挙 ～

10月12日（日）、安曇野市長・市議会議員選挙が行われました。市長選は現職のみの立候補で告示日に太田寛市長の当選が決定し、市議選は定数22に対し、29名が立候補しました。当選者のうち新人は9名で平均年齢も下がりました。市議会に新風が吹き、議論や活動が活発にされることを期待します。

今回の投票率は47.45%と前回の55.59%を8%下回り、安曇野市制始まって以来最低となりました。市長選の無投票が主要要因として考えられますが、従来のように市議候補を地域が推す形がなくなったこと、候補者の地域別偏りがあったことなど、選挙が身近でなかった方が多かったのではと推察します。選挙カーや遊説の声が聞こえず「静かだった」との声もきかれました。私たちの生活に密着する市政に、市民の声を反映させるべき市議会議員の選挙の投票率が50%を割ったことに危機感を感じます。

私自身も一議員として、市民の皆様とつながり、関係者の皆様と連携して課題を解決し、活動を発信することで、多くの方々が「住みよくなった」、「生活していて張り合いがある」と感じられるよう、活動してまいります。

現地調査・視察の様子



授業・実習の調査～8月29日長野県上松技術専門学校



人権条例に関する調査～9月18日三重県庁

【小林陽子プロフィール】2023年4月～長野県議会議員。穂高在住。
「安曇野を子どもたちが誇れるふるさとに」をテーマに田園風景と人の営みが息づく美しいまちづくりを目指す。
2016年に夫の実家のある安曇野市穂高にUターン、子育てをしながら米や野菜づくりに家族で取り組む。
1971年栃木県生まれ。津田塾大学国際関係学科卒業。趣味はフルート演奏。

発行 小林陽子後援会

事務所 安曇野市穂高 6073-19 番地(安曇野さんさんハウス内)

TEL/FAX 0263-55-7337 e-mail yoko@sunnydayazumino.com

Web ページ <https://www.sunnydayazumino.com/kobayashiyoko.html>

◆Facebook 「小林ようこを応援しよう！」

◆YouTube 「安曇野さんさんニュース」

◆X 小林ようこ(@sunnydayazumino)



Facebook



YouTube



Web ページ



X

安曇野さんさん通信 第30号

～ 長野県議会議員 小林陽子活動レポート ～

2025(令和7)年10月25日発行

朝晩の気温も下がり、山々も色づき秋が深まってまいりました。
皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。

「安曇野さんさん通信」は、今号で第30号となりました。充実した活動をさせていただいておりますのは、皆さまの激励と温かなご支援のおかげです。深く感謝いたしますとともに、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



県議会での動き～ 9月定例県議会と現地調査から報告します ～

9月定例県議会（9月25日～10月10日）では、物価高騰・米国関税措置支援パッケージを実行するための予算や、ツキノワグマ対策や災害への対応等の県民生活の安全・安心の確保に関する予算等の74億6,322万円の補正予算案等知事提出27議案および議員提出10議案を可決しました。

◇賃上げ環境整備・スタートアップ支援の強化・・・5億6098万7千円

◇医療提供体制の整備・・・4462万5千円

◇教育環境の整備・・・1億4032万9千円

◇県民生活の安全・安心の確保・・・62億814万4千円（ツキノワグマ対策・災害復旧・農作物被害対策・道路インフラ集中的修繕・大規模下水道管路の特別重点調査）

【経営がひっ迫する病院に現地調査】

8月29日、木曽地域2次医療圏で唯一の病院「県立木曽病院」を現地調査しました。濱野英明院長より、急性期医療から分娩、回復期・慢性期医療、介護等多機能経営ですが、病院規模は全国330ある医療圏では最小で、医師・看護師の確保や運営は限界である、と窮状を伺いました。また9月8日、信州大学医学部付属病院にて、花岡正幸病院長、酒井修事務部長と意見交換しました。医療資機材の値上がりに加え、国立大学法人化の方針で国からの「運営交付金」が年々減額し経営を圧迫し、助教職の定数変更により県内の医療機関へ30人の医師派遣が出来なくなることを伺いました。診療報酬の引き上げや社会保障制度の見直しを国に求めるとともに、県下の限られた医療資源を大切に「命を守る最後の砦」をどう守るか、今後の議論に反映させていきます。



県立木曽病院



意見交換の様子